

周南マリコム株式会社

山口県周南市

需要獲得
サービス

24時間365日の安心・安全をお届けすることで、地域社会に貢献 県内協業企業、大学との連携で新製品開発

創業者が山口県一の国際貿易港である徳山下松港にポータルラジオ局がない不便さに着目し、出光タンカー株式会社の社内ベンチャーを経て、地元企業31社とともに県へ陳情等を行い創設した会社である。また、1999年には、看護師等による高齢者向け24時間緊急通報・生活サポートシステム事業を立ち上げ現在に至る。持続可能な社会の実現に貢献するため、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、宣言を行う。

所在地	山口県周南市入船町2-3 Maricomビル	設立	1989年
電話/FAX	0834-21-0367/0834-32-9895	資本金	1,600万円
URL	https://www.maricom.co.jp/	従業員数	70人
代表者	代表取締役 堀 学明		



24時間コミュニケーションセンターにより、見守る輪の構築

緊急通報・生活サポートシステム事業では、看護師を含む専門の相談員が不安のない日常をお届けする。緊急時の救急車要請、さらに、健康・生活相談や生活支援としてタクシー手配などきめ細かく対応。既存の顧客基盤として61自治体を通じ、約12,000世帯を有するほか、高齢者ケアの社会ニーズの高まりにより、さらなる自治体販路や、高齢者向け住宅の不動産会社等の販路が見込める。本社がある周南市のほか、宮崎市、広島市、福岡市にサポートセンターを設置し、災害発生時の事業継続リスクへの備えもある。



さすがの早助 (サスケ)

ポータルラジオ局と緊急通報・生活サポートシステムによる地域貢献

徳山下松港のポータルラジオ局は、港湾運営を行う港湾管理者(山口県)と入出港する外貿船との間において、船舶運行に関する情報連絡を取り扱い、海の安全・安心の確保、防災に貢献している。24時間緊急通報・生活サポート事業では、利用者の生活サポート情報を一元管理しており、災害発生時の一人暮らしの高齢者への情報連絡、民生委員その他の緊急時の対応可能な連絡体制を敷いており、地域防災に貢献している。2018年の豪雨災害時には、周南市に対し、義援金100万円を寄付している。



徳山下松港ポータルラジオ局

異分野連携によるAI活用システムを開発中

同社はIoTを活用した見守りセンサー「Sobamii(ソバミー)」を開発。2020年4月に発売。さらに2021年7月にやまぐち産業イノベーション促進補助金の採択を受け、「次世代見守りサービス」の事業化を目指し、開発中。すでに山口大学理学部と共同研究を行い、また、協業企業と連携してAI技術を用いた生活パターンプログラムの開発等を行い、見守りサービスにおけるAI機能を拡充している。性能向上により、全国への販路開拓、ビジネスモデルのブラッシュアップを図り、売上高増、雇用増を見込んでいる。



見守りセンサー「Sobamii」

需要獲得

サービス